

いちごぐみたよ



尚徳福祉会 坂戸保育園 令和元年. 11. 15 (金)

色とりどりの葉が秋の訪れを感じさせる季節となりました。先月で子ども達全員満1歳を迎え、さらに動きが活発になり、言葉も少しずつ発するようになってきました。友だちの存在を確認するようになり「○○ちゃんいないね」などと話すと、あたりを見回して探し「いない」と声やジェスチャーで知らせる姿が見られました。こうやって少しずつ友だちの存在が分かるようになってきました。

今月は「全身運動」をテーマに巧技台などを使用して登る、下る、渡るなど様々な身体の動きを知り、楽しむようにしていきたいと思えます。



発見いっぱい！お散歩大好き♪

週に1度は散歩に出掛け、いろいろな体験を楽しんでいます！KSP 広場、二カ領用水付近、緑の小道、タワーマンション横広場によく出掛けています。秋は色々な自然物が満載！どんぐりを拾ったり、緑から暖色に染まった葉っぱを拾い「きれいな色だね」「どんぐり丸いね」などと声を掛けると、うんうんとうなずくなど様々な反応を見せています。広場では、かけ足で走れるようになった子も多く「よーいどん！」の声掛けに合わせて保育者を追いかけて楽しめるようになってきました。保育者が気付かない発見を子どもたちは豊かな感性でたくさん私たちに知らせてくれます。「そうだね～」「よく見つけたね～」などと共感すると、とてもご満悦そうな表情を見せ、こちらも嬉しく楽しくなる瞬間です。



季節の製作「きのこ♪」

きのこの軸は足型で製作し、幼児クラスのお兄さんお姉さんが採ったきたサツマイモを使ってスタンプにしてきのこの傘に色づけをしました。足型は初めて取りましたが、嫌がる子は1人もおらず、むしろまだやりたい～！と泣いちゃう子も(笑)サツマイモは不思議そうに見つめていましたが、押して色が付くと「おっ！」と驚いた表情や「うわ～」と嬉しそうな表情♪どんぐりやサツマイモの自然物を使った製作をこの秋楽しむことができました！



おもしろエピソード



その1…巧技台に登るS君のお尻を保育者が手で支えているのを見たRちゃん。気が付くとRちゃんがS君のお尻に手を添えてサポート！！いちご組には小さい保育士が存在しています(笑)

その2…食事中に睡魔に襲われ「わー」とぐずり出したA君。そんな姿を見たN君、自分の食べていた柿をかっていい感じに「はい！」と。まるで「僕のあげるから元気出いな！」と言っているかのような男前っぷりでした(笑)

おねがい

大きく成長してきた証に、最近では着脱に意欲を持ち始め“じぶんで！”と頑張る姿が一人一人に見られてきました。子どもたちの意欲を大切にしていきたいと考えていますので、肌着はロンパースを卒業し子どもたちが脱ぎ着しやすいセパレートタイプ(上下別)の肌着に変えていただくようご協力をお願い致します。